

イベント学会

2022 年度第 1 回理事会・通常総会 議案書

2022 年 6 月 10 日（金）

15:00～16:00

於：全国中小企業振興機関協会会議室および学会 zoom アカウント

審議事項

- 第 1 号議案 「2021 年度事業報告」承認の件
- 第 2 号議案 「2021 年度収支決算」承認の件
- 第 3 号議案 「理事・監事選任」承認の件

報告事項

1. 2022 年度事業計画について
2. 第 25 回研究大会について
3. 大阪・関西万博「TEAM EXPO」パートナー登録について

第1号議案 「2021年度事業報告」承認の件

I. 事業に関する事項

(1) 第24回研究大会

第24回研究大会について以下の概要で実施した。

- 名 称：イベント学会 第24回研究大会
- テ ー マ：「バンパクのカタチ ～SDGs+beyond 新世紀の幸福論～
2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に向けて」
- 実行委員長：橋爪紳也（イベント学会副会長）
- 開 催 日：2021年11月6日（土）・7日（日）
- 会 場：11月6日（土）大阪市住まい情報センター ホール
〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 3階
11月7日（日）大阪府立大学 I-site なんば
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2階
- 参 加 費：会場参加、オンライン参加とも同一の参加費とする
会員：5,000円（共催/後援団体会員含む）
非会員：7,000円
学生・大学院生：3,000円
- 主 催：イベント学会
- 共 催：大阪府立大学観光産業戦略研究所
一般社団法人日本イベント産業振興協会、一般社団法人日本イベント協会、
日本イベント業務管理士協会
- 後 援：2025年日本国際博覧会協会
- 協 賛：西尾レントオール株式会社

(2) 地域本部

①東日本地域本部

本部長：加藤淑子理事 副本部長：町田誠理事、守屋慎一郎理事・副事務局長
事務担当：田中力会員

実施事業1) 第1回交流会 ニューカマープレゼンテーション

日時：2021年7月12日（月）16:00～18:00

内容：1) ニューカマープレゼンテーション（10分以内×6名）
2) zoomによる会員相互交流

実施事業2) 第2回交流会 2027年横浜国際園芸博覧会会場予定地バスツアー

日時：2021年11月20日（土）12:00～17:00

会場：2027年横浜国際園芸博覧会開催予定地（集合：横浜駅西口）

内容：

- ・マイクロバスによる JR 横浜駅から会場予定地までの往復移動
- ・会場予定地の現地踏査
- ・バス往路及び現地踏査において、横浜市上瀬谷整備・国際園芸博覧会推進室 国際園芸博覧会推進部担当官からの花博の計画等の説明
- ・会場予定地のリアルライブ・バーチャルのハイブリッド画像を ZOOM コミュニケーションにより配信

参加人数：20 名

※1 月実施を予定していた第 3 回交流会は新型コロナウイルスの拡大を受け中止とした。

②中部地域本部

本部長：谷喜久郎理事 副本部長：古澤礼太理事

事務担当：原田伸介会員

協力：エバレット K ブラウン会員 新井野洋一会員 片桐朋子会員

：日本イベント業務管理士協会（JEDIS）中部地域本部

実施事業 1）SDGs 異業種情報交流会「第 5 回大人のための SDGs 街 cafe」開催

日時：2021 年 10 月 24 日（日曜日）15：00～街歩き／17：00～座学

会場：有松鳴海絞 名古屋市有形文化財竹田嘉兵衛商店 三番蔵

内容：

- ・有松鳴海宿 15：00～サスティナブルトラベル KAIDO 街道 街歩き
17：00～竹田邸三番蔵座学と将軍様が訪れた茶室哉松庵見学
- ・話題提供 「東海道中膝栗毛 戯作から読み取る江戸文化」
三重大学 人文学部 吉丸雄哉教授
- ・活動紹介 「弥次喜多の買った有松絞初手手ぬぐい再現」
有松絞り作家 安保成子氏
「有松絞と街道 400 年の歴史」
㈱竹田嘉兵衛商店会長 竹田嘉兵衛氏
- ・「藍」を食する／試食体験 徳島大学 宇都義浩教授
(有)フィレンツェ代表取締役小島祐助（試食提供）
- ・ワンミニ・アクション（インタビュー形式による参加者 1 分間スピーチ）

参加人数：38 名

実施事業 2）「2025 年万博に向けた愛・地球博の理念検証」活動

③西日本地域本部

本部長：宮本倫明理事 副本部長：信時正人理事、川井徳子会員

事務担当：川井徳子会員（兼任）

コアメンバー：間藤芳樹会員、田村匡会員、野上卓志会員

実施事業１：研究講演会

第０回研究講演会

７月８日（木）１７：００～１８：３０

ハイブリッド形式で、福井昌平イベント学会副会長を講師（オンライン）として研究講演会のキックオフを実施。テーマは「関西歴史文化首都」プロジェクトと「２０２５大阪・関西万博」。

リアル会場参加者１２名、オンライン参加者７名。

第１回研究講演会

８月２３日（月）１７：００～１８：３０

ハイブリッド形式で、飯田泰之明治大学准教授を講師（オンライン）として第１回研究講演会を実施。テーマは「コロナ禍と観光業の現状」についてで、コロナで打撃を受けた、イベント業界、観光業界についてデータをもとにお話いただいた。

リアル会場参加者８名、オンライン参加者６名。

第２回研究講演会

９月２７日（月）１７：００～１８：３０

ハイブリッド形式で、桑原宗久（一財）関西観光本部 デジタルマーケティング室長を講師（リアル）として第２回研究講演会を実施。テーマは「関西観光本部の組織と現在の取組」について、コロナ前やコロナ下でのインバウンド政策・取組についてお話いただいた。

リアル会場参加者１０名、オンライン参加者１０名。

第３回研究講演会

１１月３０日（火）１７：００～１８：３０

ハイブリッド形式で、岩本渉 ユネスコ・アジア無形文化センター所長を講師として第３回研究講演会を実施。テーマは「無形文化遺産と観光」についてお話しいただいた。

リアル会場参加者６名、オンライン参加者６名。

実施事業２：TEAM EXPO へのエントリーについて

イベント学会として、大阪・関西万博の TEAM EXPO 共創パートナーへの登録申請を準備。一旦申請受理されたが、GISPRI との協働での支援事業を絞り込んだ内容に修正登録した。

その他

新年度は、関西２府４県での地域実行委員会（仮称）を組織し、それぞれの自治体との協議を進めつつ、万博協会、関西観光本部の協力を得ていく。

(3) 研究助成

2022 年度研究助成の募集を行い、一般、学生、各 1 件の研究を採択した。

選考委員：橋爪紳也理事・副会長（委員長）

野川春夫理事・副会長、福井昌平理事・副会長、師岡文男理事

①一般助成：イベント産業における SDGs 推進—イベント産業版 SDGs ガイドライン試案の
作成とガイドライン普及計画の立案—

申請者氏名：森由香（イベント産業における SDGs 推進研究会）

共同研究者：信時正人、中嶋勇喜、守屋慎一郎

研究期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 2 月 28 日

助成金額：300,000 円

②学生助成：在留外国人のスポーツ観戦チケット購入および試合観戦の楽しさにおける
阻害要因：名古屋グランパスエイト「鯨の大祭典」を事例として

申請者氏名：太田明李（中京大学スポーツ科学部 伊藤ゼミ）

共同研究者：川西司／佐藤剛史／伊藤央二

研究期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 2 月 28 日

助成金額：100,000 円

(4) 機関誌「イベント学研究」

イベント学会機関誌『イベント学研究』第 5 巻を編集し、発行した。

発行：2022 年 3 月 31 日

編集委員：師岡文男理事（委員長・全体総括、研究大会報告担当）

萩裕美子理事（副委員長・研究論文担当）

信時正人理事（地域本部報告担当）

守屋慎一郎理事（地域本部報告・事務局情報報告担当）

(5) 広報事業（オンライントーク）

2021 年 1 月より開始したオンライントークについて、2021 年度は以下のとおり実施した。

	日程	曜日	担当	ゲスト	タイトル
Vol. 06	4 月 9 日	金	守屋	庭山由佳	コロナ禍におけるドイツの劇場の実践と文化支援
Vol. 07	4 月 21 日	水	田村	川井徳子	イベントと観光・奈良 SDGs 学び旅について
Vol. 08	5 月 12 日	水	町田	忽那裕樹	賑わい空間とランドスケープデザイン
Vol. 09	6 月 9 日	水	古澤	石田芳弘	SDGs 時代の日本の祭りイベント
Vol. 10	6 月 23 日	水	守屋	二宮敏/ 松波雄大	ローカルに根ざすクリエイター、地方からの発信
Vol. 11	7 月 7 日	水	上代	師岡文男	世界レジャー会議におけるハイブリッド国際会議の可能性
Vol. 12	8 月 18 日	水	田村	森山弘樹	VR の第一人者、バーチャルイベントや V チューバーも踏まえて
Vol. 13	9 月 8 日	水	町田	今西良共	街を変えた公園のイノベーターたち
Vol. 14	9 月 22 日	水	上代	東明有美	日本女子サッカーの未来展望 -WE リーグの可能性-
Vol. 15	10 月 6 日	水	古澤	福井昌平/ 川西太士	愛・地球博のレガシーがまた燃える
Vol. 16	10 月 20 日	水	町田	平賀達也	アクティビティを載せるランドスケープ
Vol. 17	11 月 24 日	水	守屋	栗栖良依	TOKYO2020 のレガシーを考える -多様性と調和のある社会の実現をめざして-
Vol. 18	12 月 8 日	水	守屋	小崎奈央子	地域を編集で結ぶ一立川の小さな出版社の挑戦
Vol. 19	12 月 22 日	水	上代	心地よい暮らし 研究会	消費者から見たイベント
Vol. 20	1 月 19 日	水	古澤	エバレット・ブラ ウン/原田伸介	「街道 (KAIDO)」をテーマとした持続可能な SDGs マイクロツーリズム
Vol. 21	2 月 2 日	水	守屋	高橋匡太	ハローサンリクー東日本大震災から 10 年「ひかり の実」特別プログラム
Vol. 22	2 月 9 日	水	田村	小松弘明	関西のサブカル発信力と関西万博

(6) ウェブサイト改訂

昨年度に全面リニューアルを行なったことから、今年度は小規模な修繕のみとした。修繕点は以下のとおり。

- ・研究大会ページの情報更新およびアーカイブ情報の一部修正
- ・プルダウンメニュー等の整理
- ・入会案内に会員ごとの特典を追記 ほか

編集：守屋慎一郎理事・副事務局長

（７）顧問会議（JACE 交流会）

2020 年度に実施を見送った一般社団法人日本イベント産業振興協会（JACE）との交流会について以下の通り開催した。

日時：2021 年 6 月 14 日（月）18:00～20:00

会場：ホテル グランドアーク半蔵門 トパーズ（3 階）

出席：JACE 石井会長、成田相談役、穂刈専務、松尾常務、津川専務付、中尾常務付
（役職開催当時）

イベント学会 中村会長、福井副会長、野川副会長、橋爪副会長、
上代事務局長、守屋副事務局長

内容：1）イベント学会 2021 年度事業計画のご紹介

2）両団体の連携についての意見交換

Ⅱ．運営に関する事項

（１）総会・理事会・運営会議等

総会、理事会、運営会議等を以下のとおり開催した。

会長、事務局による個別報告会、事務局のみによる会議等はこれを省略す。

開催日	種別	主な議題
4 月 6 日	臨時総会	第 1 号議案 「2021 年度事業計画（案）」承認の件 第 2 号議案 「2021 年度収支予算（案）」承認の件 第 3 号議案 「会則改定（案）」承認の件
5 月 11 日	第 1 回運営会議	1）通常総会議案書（2020 年事業報告および収支決算）について 2）理事会および通常総会の開催方式について 3）JACE 交流会について（および監事選任について） 4）第 24 回研究大会について 5）地域本部活動計画について 6）機関誌、論文募集について 7）事務局業務委託について 8）機関誌第 4 号および年会費請求書の発送について 9）SDGs をテーマとした新規個別テーマ研究会について 10）次回運営会議日程について
6 月 7 日	第 1 回理事会 通常総会	第 1 号議案 「2020 年度事業報告」 承認の件 第 2 号議案 「2020 年度収支決算」 承認の件
7 月 1 日	第 2 回運営会議	1）2021 年度予算の補正について 2）研究大会実施計画（案）について 3）講師謝金基準について 4）地域本部活動状況について 5）研究助成、2021 年度中間報告および 2022 年度募集要項について 6）機関誌について 7）SDGs 研究会の開催予定について 8）入会案内リニューアル（参加特典の表記内容）について

9 月 13 日	第 3 回運営会議	1) 研究大会実施計画（案）について 2) 地域本部活動状況について 3) 個別テーマ研究会の活動状況について 4) 研究助成について 5) 機関誌「イベント学」研究、編集委員長からの相談事項について 6) オンライントークの開催状況について 7) 公式ホームページの小規模修繕について 8) 新規入会者承認について 9) 出納報告（会費納入状況、支出状況等）
10 月 11 日	第 2 回理事会	第 1 号議案「第 24 回研究大会」について 第 2 号議案「TEAM EXPO プロジェクトへのパートナー」登録の件
11 月 29 日	第 4 回運営会議	1) 第 24 回研究大会（報告）について 2) 2022 年度 活動計画および予算について 3) スタジアム等施設管理者におけるイベント危機管理講習会への協力について
1 月 17 日	第 5 回運営会議	1) 2022 年度 活動計画について 2) 2022 年度 予算について 3) 理事選挙について 4) その他
2 月 21 日	第 3 回理事会	第 1 号議案 「2022 年度事業計画（案）」について 第 2 号議案 「2022 年度事業予算（案）」について 第 3 号議案 「選挙管理委員選任」について

第2号議案 「2020年度収支決算」承認の件

(1) 収支計算書

令和3年度 収 支 計 算 書

イベント学会

自.令和3年4月1日 至.令和4年03月31日

収入の部

(単位: 円)

科目	摘要	予算金額	決算金額	比較増減
前年度繰越金		3,375,162	3,375,162	0
入会金収入	入会金	100,000	395,000	△295,000
会費収入		(6,010,000)	(4,668,000)	(1,342,000)
	個人会員年会費	1,800,000	1,515,000	285,000
	準会員年会費	10,000	3,000	7,000
	賛助会員年会費	4,200,000	3,150,000	1,050,000
事業収入	研究大会	600,000	677,000	△77,000
雑収入		(0)	(114,798)	(△114,798)
	雑収入	0	114,780	△114,780
	受取利息	0	18	△18
当期収入合計		(6,710,000)	(5,854,798)	(855,202)
収入合計		10,085,162	9,229,960	855,202

支出の部

(単位: 円)

科目	摘要	予算金額	決算金額	比較増減
事業費		(4,150,000)	(3,146,876)	(1,003,124)
	研究大会	1,350,000	1,257,170	92,830
	広報事業	200,000	123,320	76,680
	東日本地域	350,000	51,600	298,400
	中部地域	350,000	349,940	60
	西日本地域	350,000	60,660	289,340
	ジャーナル発行	500,000	418,330	81,670
	ウェブサイト改訂	400,000	226,066	173,934
	研究助成	500,000	600,880	△100,880
	顧問会議・運営会議	150,000	58,910	91,090
管理費		(2,560,000)	(2,196,286)	(363,714)
	業務委託費	1,000,000	1,000,000	0
	会議費	150,000	73,587	76,413
	旅費交通費	100,000	164,660	△64,660
	消耗品費	50,000	3,085	46,915
	通信運搬費	350,000	273,012	76,988
	資料作成・印刷費	250,000	214,392	35,608
	賃借料	400,440	400,440	0
	会場費	100,000	0	100,000
	雑費	50,000	33,780	16,220
	予備費	109,560	33,330	76,230
当期支出合計		(6,710,000)	(5,343,162)	(1,366,838)
次年度繰越金		3,375,162	3,886,798	△511,636
支出合計		10,085,162	9,229,960	855,202

(2) 主要増減

①収支全体について

2021 年度の収支計画では、事業内容および事務局経費を見直し、単年度収支の健全化を図った。全体としては収入、支出ともに予定を下回っており、次年度繰越金が予算よりも 500 千円程度増加する結果となった。ただし 2021 年度に清算すべき経費の一部（個別テーマ研究会協賛金および西日本地域本部経費、合計 400 千円程度）が未清算のため、実質上の単年度収支はほぼプラスマイナスゼロとなっている。

②収入の部

入会金 : 新規個人会員が大幅に増加したほか、研究大会を契機として賛助会員の新規加入もあり、予算を上回る収入があった。

個人会員年会費 : 前年予算をもとに 180 人分で予算を組んだものの、新規会員の増加以上に未納会員があり約 150 名分の収入となった。会則では 2 カ年連続未納者は退会とみなすことを定めており、新年度に名簿を精査する予定。

賛助会員年会費 : 2021 年度予算編成時に参照した 2020 年度実績に累積していた未納分をまとめて集金したものが含まれていたため、実際の会員数に即さない予算額となっていた。2022 年度予算からは実際の会員数を踏まえた予算計画としている。

研究大会参加費 : 参加登録人数の拡大により増額。

雑収入 : 主に個別テーマ研究会（宇宙植物テーマガーデン研究会）への協賛金、新年度に研究会に振込予定。

参考：現在会員数（2022 年 5 月）

種別	会員数	備考
個人会員	177	2021 年度会費未納者含む
準会員	3	
賛助会員	26	32 口

③支出の部

<事業費>

研究大会 : 予算内にて実施。

東日本・中部・西日本地域本部 :

東日本地域本部について、予定していた第3回交流会を新型コロナウイルス感染症の拡大をうけ中止したことにより大幅に執行減。

中部地域本部はほぼ予算どおり。

西日本地域本部は一部未清算経費あるため、2022年度に清算予定。

研究助成 : 2021年度助成金を執行。2022年度助成金は2022年度に執行予定。

機関誌発行 : 予算内にて実施。

広報事業 : 会員については謝金支払いを行わないこととしたことから予算を下回り実施。

顧問会議 : 2回開催予定を1回とした。

<管理費>

業務委託費 : 予算どおり。

会議費 : オンライン活用等により減額。

旅費交通費 : 研究大会への事務局派遣等により増額。

消耗品費 : 大きな支出なく減額。

通信運搬費 : 滞納者への請求書郵送を中止しメール対応にしたこと等による減額。

資料作成・印刷 : ほぼ予算どおり。

賃借料 : 予算どおり

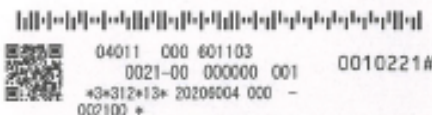
会場費 : 会長オフィスを利用させていただいたことにより執行なし。

雑費・予備費 : ほぼ予算どおり。

①みずほ銀行

102-0082

イベント学会 様



〒102-0083
東京都千代田区麹町3-2
TEL:03-5565-1111

イベント学会 横

證明基準日 2022- 3-31 現在

0303120130

1/ 1

貴方ご名義の上記勘定残高について相違ないことを証明いたします。

- (注) 1. この証明書の金額は訂正いたしません。
2. 摘要欄の「手形」の金額は、残高のうち未決済の手形・小切手金額を表示しています。
3. 摘要欄の「貸越」の金額は、貸越金額を表示しています。
4. 「普通預金※」は無利金型です。

銀行名 株式会社みずほ銀行

發行店 麹町支店



②ゆうちょ銀行

振替口座残高証明書

口座番号	00120-0- 357450
------	-----------------

加入者名	イベント学会
------	--------

令和 4 年 3 月 3 1 日現在の口座残高

***** 2, 343, 746 円

上記のとおり証明します。

令和 4 年 4 月 1 日
ゆうちょ銀行

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

(4) 監査報告

イベント学会 会長 中村利雄 様

監査報告書

イベント学会の2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)
事業報告および計算書類は、適正かつ妥当であるものと認めます。

2022年5月11日
イベント学会

監事 穂苅 雄作

穂苅 雄作 

監事 松平 輝夫

松平 輝夫 

第3号議案 「理事・監事選任」選任の件

イベント学会会則および理事・監事選任規定に則り、以下のとおり役員選挙を実施した。

選挙管理委員：橋爪紳也、津川敦、上代圭子

選挙期間：2022年4月27日～5月16日 開票日：2022年5月23日

有効投票数：72票（郵送53、メール18、ファックス1）

①個人会員による理事選挙の理事候補者（上位10名、敬称略）

順位	有効得票	氏名	所属
1	54	福井昌平	CI戦略プロデューサー
2	48	中村利雄	公益財団法人 全国中小企業振興機関協会 会長
3	43	宮本倫明	株式会社 Landa 代表取締役
4	41	橋爪紳也	大阪公立大学 特別教授
4	41	守屋慎一郎	合同会社企画室 代表
6	38	上代圭子	東京国際大学 人間社会学部 准教授
7	31	町田誠	横浜市立大学大学院 客員教授 （一財）公園財団 常務理事
8	29	野川春夫	武庫川女子大学 学術顧問
9	27	師岡文男	上智大学 名誉教授、スポーツ庁 前参与
10	24	古澤礼太	中部大学 国際ESD・SDGs センター 准教授

②会長・副会長推薦による理事候補者（5名以内、敬称略）

推薦理由：理事選挙により上位得票あり、学会活動の活性化と会員拡大への貢献が期待できる

会員種別	氏名	所属
個人会員	岡星竜美	目白大学 メディア学部 特任教授
個人会員	加藤淑子	株式会社エンコーポレーション 代表取締役社長
個人会員	谷喜久郎	株式会社新東通信 代表取締役会長 兼 社長
個人会員	信時正人	株式会社エックス都市研究所 理事
個人会員	萩裕美子	東海大学 大学院体育学研究科長 教授

③監事候補者（2名、敬称略）

推薦理由：イベント関連団体との連携強化および大所・高所からの俯瞰が期待できる。

会員種別	氏名	所属
個人会員	津川敦	(一社)日本イベント産業振興協会 専務理事
個人会員	松平輝夫	(一社)日本イベント協会 理事長